



カンヌ映画祭審査員特別賞受賞
1977 Cannes Film Festival Jury Prize.

デュエリスト 決闘者

THE DUELLISTS

Paramount Presents

「エイリアン」はこの作品から始まった
スコット監督第一回作品
噂の傑作、遂に公開!



キース・キャラタイン

Kath Carnathine

ハーベイ・カイトル

Harvey Keitel

アルバート・フィニー

Albert Finney

エドワード・フォックス

Edward Fox

クリスチナ・レイノズ

Cristina Raines

製作 デビッド・パットナム

Produced by David Putnam

監督 リドリー・スコット

Directed by Ridley Scott

（カラー作映）パルムサンレ映画／コロムビア
IN COLOUR DISTRIBUTED BY CINEMA INTERNATIONAL CORPORATION



男は戦つて、男をみがいた。

解 説

男が自分の生き方をもって「真の男らしさ」を示していた時代、それが19世紀初頭だった。ブリュメール18日のクーデターで権力を手中に握ったナポレオン・ボナパルトの欧州征服の野望が頂点に達し、兵士たちは意気軒昂としていた。

この「デュエリスト」(決闘者)はその時代を背景に、半生を決闘につぐ決闘で費した二人の仇同士の男の物語である。相手を倒すことだけが彼ら二人の執念となり、やがては生きる目的そのものとなっていく。そもそも争いの原因が何であったのか、当の二人の男も覚えてはいない。しかし、ただ「闘う」ことによって、そして、その宿命な「決闘」を行なうことによってしか、自分の存在を確かめることができなくなってしまったのだろう。

原作はジョセフ・コンラッドの短篇「決闘」で、その二人の将校を通して人間が心の奥底に隠し持っている「暴力」への本能的な渇きを鋭く暴いている。この作品の映画化を考え出したリドリー・スコットは、「エイ

リアン」(79年)で一躍有名となった監督で、この「デュエリスト」は彼の処女作である。その映像の美しさはキューブリックの「バリ・リンドン」(75年)に匹敵し、77年、カンヌで審査員特別賞を受賞している。また、この映画化にゴー・サインを出したプロデューサー/デビッド・パットナムは「小さな恋のメロディ」(71年)「ダウンタウン物語」(76年)など、ヒット作を数多く手がけている若手である。

主役の二人を演じるのはハーベイ・カイテルとキース・キャラダイン。カイテルは近年、特異な脇役として頭角を現わしてきた俳優で、「タクシー・ドライバー」(76年)「ジェラシー」(80年)など着実な道を歩んでいる。一方のキャラダインはロバート・アルトマン一家で「ギャングラー」(71年)「ナッシュビル」(75年)などで多彩な役柄を演じわけている。その他、クリスチナ・レインズ、アルバート・フィニー、エドワード・フォックスなど、豪華な配役である。(上映時間 1時間41分)



THE DUELLISTS



物 語

1800年、フランスのストラスブールで決闘が行なわれた。「名誉のため」という理由で、軽騎兵のフェロー中尉(ハーベイ・カイテル)が町の有力者の甥に傷を負わせたのだ。若い軽騎兵、デュベール中尉(キース・キャラダイン)は軍の命令を伝えに来ただけで、フェローから決闘を挑まれた。デュベールにとっては理由のない決闘だったが、「男」として受けて立ちフェローの腕に傷を与えた。

これが、二人の半生を決定づけた出来事だった。翌年、アウグスブルグに駐屯していたデュベールは再びフェローと顔を合わせ、二度目の対決となった。この対決で、フェローはデュベールの胸を傷つけた。同僚の軽騎兵たちの間では彼らの事がもちきりとなった。そんなある日、デュベールは將軍に呼び出され、これ以上決闘をすれば除隊させると言い渡された。

1806年、リュベック。数年間平和な日々を送っていたデュベールの前に、またしてもフェローが現われた。デュベールにとって、フェローとの決闘は「騎士道」精神から受けてたっているにすぎなかった。今回はデュベールがフェローを傷つけて終った。

1812年、ナポレオンは大軍を率いてロシア遠征へと向った。冬將軍の前に敗れ去ったフランス軍の敗残兵たちは、今にも凍えそうな様子で退却を始めていた。

そこで二人が出逢うとは、デュベールもフェローも思いもしなかった。デュベールはいつしか友情に近いものを感じ、フェローに手を貸した。

1814年、ルイ18世が即位したフランスでは政情が落ち着き始めた。デュベールも、ツールの姉の家で知り合ったアデル(クリスチナ・レインズ)と結婚し、幸せな日々を過していた。そこに、突然、フェローが現われて決闘を挑んできた。最後の決闘はピストルで行なわれる事になった。ピストルを構えた二人は、「決着」をつけるために廃墟の中に消えていった……。

<スタッフ>

製作……………デビッド・パットナム
監督……………リドリー・スコット
原作……………ジョセフ・コンラッド
脚色……………ジェラルド・ボーン・ヒューズ
撮影……………フランク・ティディ
音楽……………ハワード・ブレイク

<キャスト>

フェロー中尉……………ハーベイ・カイテル
デュベール中尉……………キース・キャラダイン
アデル……………クリスチナ・レインズ
大佐……………エドワード・フォックス
トレイヤル將軍……………ロバート・スティープンス
ローラ……………ダイアナ・クイック

デビッド・パットナム・プロダクション作品/イギリス映画/1977年作品

3月26日(金)よりロードショー!
シネマスクエア
とうきゅう

新宿コマ劇場向いミラノ座横3F (232)9274

全席自由定員制<入替制>

日・祝	10:20	12:30	2:40	4:50	7:00
平日		12:30	2:40	4:50	7:00

●金曜、土曜の夜はレイトショーPM9:10より

- 満員及び上映中の入場はできません。
- 当日は、鑑賞券お持ちの方も座席に限りがありますので、お早目に窓口までおこし下さい。

特別鑑賞券発売中 1,200円
当日料金 1,500円の処